

建材マンスリー

THE KENZAI monthly



2

No.533

2010



特集

住友林業 海外レポート
インドネシア、シンガポール、
ニュージーランド、中国（大連、阜新）

1

情報ピックアップ

住宅版エコポイント制度がスタート

8

製品紹介

永大産業「エコメッセージフロア」
「エコメッセージパートナーワン」

10

Coffee Break

ネットの発信力に期待、「カタラボ」（建産協）

12

12月の新設住宅着工

15

平成21年 年間新設住宅着工

16




アメニティデザイン企業



newRⅢシリーズ 銘木調タイプ

ML : ミルベージュ MT : ティーブラウン
MF : カフェブラウン MW : ダルブラウン



本物の品格と風格を漂わせる
リアルな木肌感。



リビングドア



システム
造作部材



クローク収納
X10



玄関収納

大建工業株式会社

DAIKEN のホームページアドレス <http://www.daiken.jp/>

本社 / 大阪市北区堂島1丁目6番2号 (堂島アバンザ22F) ☎(06) 6452-6000

インドネシア (KTI)

地元地域の発展と共に

インドネシアのプロボリングから寄稿させていただきます。

小職が勤務するKutai Timber Indonesia社(本社:ジャカルタ 工場:プロボリング 住友林業99%出資 以下KTI社)は、1970年に東カリマンタンの森林資源開発を目的に設立されました。その後、1973年にジャワ島東部に位置するプロボリングにおいて、合板工場を建設、翌年に操業を開始しました。KTI社の合板工場は、インドネシアの合板工場の中でも最も古い工場のひとつです。1992年には建材部門を設置し、2008年にはパーティクルボード(PB)の生産を開始しました。また、KTI社では原材料に占める植林木の割合を高めるために、東ジャワにおいて品質に優れた早生樹であるファルカタを始めとする植林活動を、農園公社や林業公社、各地域住民と提携して行っており、各種の植林木の研究・育成に取り組んでいます。

現在の事業は、合板・建材・PBが3本柱になっており、合板部門においては、過去30年以上に及ぶ合板製造の経験を活かし、インドネシア国内の合板工場として、いち早く植林木を活用した合板製造に取り組んでいま



す。ロータリーレース5機、ドライヤー4機を備える工場はISOの品質管理・環境管理システムを導入し、厳しい品質基準の下、環境に配慮した製品を生み出しています。生産量は月間約1万m³、生産品目は、普通合板、フロアベース、二次加工用台板、ブロックボード、LVL等、多岐に亘ります。また、植林木のバルサを利用した軽量合板、軽量ブロックボードの開発等、これまで以上に付加価値の高い製品への取り組みを進めています。

建材部門においては、天日乾燥用の土場と各種製造加工設備を有し、あらゆる建材・木工品のニーズにお応えしています。生産量は月間約4千m³で、生産品目は、木製防火ドアを始め、ベアコア(ティンバーコア)、集成材、無垢フローリング、造作材、化粧貼合板、楽器用部材、木工品等、多岐に亘っています。建材部門においても、植林木のファルカタやバルサを利用した軽量突板等、新商品の開発に注力しております。

パーティクルボード部門においては、KTI社及び周辺地域から排出される廃材等、従来は燃料以外使われなかった資源を原材料として有効活用し、CO₂の固定化に有効なパーティクルボードを生産しています。生産量は月間約1万m³、昨年11月には北米向け輸出のためのCARB認証(米国カリフォルニア州の認証)を取得し、顧客である家具メーカーの北米向け輸出ニーズに対し、材料面からのバックアップを行っています。

また、第四の事業として、インドネシアにおける植林の請負事業に取り組んでいます。環境問題への取り組みに関心の高い企業の植林活動をお手伝いしようというものです。

KTI社は、今後もお客様の様々なニーズにお応えして参りますので、引き続きKTI社に対する御厚情、お引き立てを賜りますよう

宜しく願い申し上げます。日本からは少し遠いですが、ぜひ一度お越しになり、工場をご視察ください。

(PT. Kutai Timber Indonesia 松下大 部長)

インドネシア (SRP)

“Kerja Sama”

PT. Sinar Rimba Pasifik社は2009年6月設立、11月より稼働開始したばかりの、木質内装材製造会社です。

同業他社の方には「何故、この時期に?」、「何故今インドネシアなのか?」といった質問をよく受けます。確かに2008年9月のリーマンショック以降、国内外の景気低迷が顕著になり、現在でも非常に厳しい状況が続いておりますが、だからこそ今がチャンスと言えます。

国内住宅各社は、「コストダウン」と「安定供給」という一見相反する条件を求められており、また今後は、原材料の透明性、つまり合法伐採であること、持続可能な資源であることが要求されていきます。このような情勢の中で、高品質な木質内装材を安定的、且つリーズナブルな価格で供給していくことが我々SRPの責務であり可能性であると考えています。

住宅はお施主様にとっては一生に一度の大きな買物です。その時にお施主様の求めるオリジナルな木質内装材をリーズナブルな価格で提供していく喜びを、我々は共有したいと考えています。

インドネシア語で「Kerja Sama」とは「一緒に働く (協業)」という意味ですが、まさしく我々木質内装材のビジネスはこの言葉がぴったり当てはまります。

内装材のビジネスはお施主様の要望されるものを開発し、原材料を世界各国から仕入れ、SRPで加工し、完成品にして日本国内の納材メーカーに供給、大工さんが家に取り付けてようやく完成します。しかし、これで終わりではありません。住み始めてお施主様と共



に時を経ることで、歴史や思い出をもって一緒に成長していくのです。

これまで日本の住宅は20年程度で建て替え、買い替えされることが主流でしたが、今後は60年や100年の高耐久住宅が当たり前になることが考えられます。よく海外で、「日本人は、水と木は太陽の光と同じようにふんだんにあると思っている」と言われますが、それだけ日本人は“木”に親しみ・愛着を感じていると言えます。

しかし、世界情勢を冷静に判断すれば、今後はこれまでの様に贅沢に木材資源を使うことは難しくなると推察します。この貴重な木材資源を顧客の要望に応じてうまく利用しながら、持続可能な資源を守っていく。これは山林育成から住宅まで手掛ける住友林業グループでしか出来ない仕事です。

木を植え、育て、伐採し、加工して、お客様にお届けする。そのビジネスで得た利益を使い、また木を植え…と永遠にこのサークルを、世代が変わっても継続していく。この世代や地域を超えたサークルもKerja Samaと言えるのではないかと考えます。

SRP自身は日本人駐在員とインドネシア人パートナー、インドネシア人従業員の連携で、インドネシア国内植林木や北米、欧州からの輸入合法材を使いながら生産をし、日本や豪州などへ販売を実施していく予定です。

SRPという会社の中での「Kerja Sama」、地球規模での地域を超えた「Kerja Sama」、また、世代が変わっても活動発展し続ける時間軸での「Kerja Sama」を実現していき

いと思っています。

(PT. Sinar Rimba Pasifik 宮崎宏征社長)

シンガポール

アジアの巨大市場

シンガポールは1965年にマレーシア連邦から分離・独立しました。国土面積は東京23区とほぼ同じの約648平方キロの人口450万人の小さな国「シンガポール共和国」から、レポートさせていただきます。

まず最初に弊社・シンガポール住友林業のご紹介させていただきます。

歴史を振り返りますと、1985年に、関係会社のKTIで生産される合板の第三国向け販売からスタートしています。これは、弊社の使命として海外グループ会社の商品販売という大切な任務を負っている事を意味しています。現在は関係会社であるNPIL、ALPINE、KTI、RPIの商品が全仕入先の80%を占めており、正にグループのアジア地区における商事活動の中心的役割を担っております。又、販売エリアはASEAN諸国をメインとし、最近ではインド、中東、欧州、モーリシャスと多岐に渡っております。

さらに近年は、新規事業開発の情報発信拠点としての役割も担っており、トレーディングを通じて得た情報・知見を生かし、周辺各国の情報を集約してあらゆる事業の可能性を探る拠点としても期待されております。昨年よりインドネシアのALASグループと28万ヘクタールの植林事業に向けて取り組んでいます。



さて、そんな東南アジアのシンガポールでいったい何が起きているのか？ 2009年を少し振り返って見ます。

2008年9月のリーマンブラザーズ倒産後、日本と同様に、世界的な金融危機を受け、波乱の幕開けとなりました。年初は景気悪化懸念の広がりで行き不透明感が強まり、シンガポールを含め東南アジアの各国も経済的に大打撃を受ける事となります。

具体的にはこの1～3月のGDP成長率は対前年比でマイナス9.6%、4～6月期でマイナス3.7%まで落ち込み最悪の状況が続きました。しかし、ようやく7～9月期は5四半期振りにプラス0.6%となり、やっと回復の兆しが見え始めます。政府も、当初マイナス6～9%としていた2009年経済成長率をマイナス2.5～2%に上方修正しており、最悪の景気後退局面は脱したとされています。

しかし、各国が苦しんでいる不景気下でもGDPのマイナス成長が一度もなかった国も存在します。それがインドネシアとベトナムです。

出張でこれらの国を訪問すると、まず誰もが活気に圧倒されます。IMFの2009年GDP成長率予測ではインドネシア4.0%、ベトナム4.6%と他のASEAN諸国がマイナス成長の中、ダントツの成長率をみせています。

来年、1月にインドとASEANのFTA、インドと韓国のEPAが発効されればASEANを軸に約30億人の巨大市場の一体化が一気に加速し、域内での貿易・投資競争に弾みがつくのは確実で、本当に面白い展開が期待できることでしょう。是非ともこれを機会に、アジアに興味を持っていただけたら幸いです。これからは、「THINK GLOBAL」です。

1年4ヶ月の駐在期間中に本当にいろんな事を肌で経験させていただきました。是非とも読者の皆様は小職が経験した内需のすごさ、東南アジアの底力をご自分の目でご確認しにいらして下さい。

加えて、東南アジアにご出張の際には、必

ずシンガポールにお立ち寄り下さい。駐在員4人が素晴らしいアテンドをさせていただきます。皆様の来星を心よりお待ちしております。

(シンガポール住友林業 新堂康之社長)

ニュージーランド

素早く市場に対応

ニュージーランドは南半球にある人口約430万人の国ですが、ここに4名の住友林業の社員が駐在しております。ニュージーランドの状況と住友林業の100%子会社であるネルソンパインインダストリーズ (NPIL) について報告させていただきます。

2009年のニュージーランド経済は2008年第1四半期から続いた景気後退から2009年第2四半期によりやく脱却しました。景気後退が長引いたのは、インフレ抑制のための金融引き締めを早くから実施してきた事で高金利が続き、内需が鈍化した点と、輸出の主力である畜産業、鉱業が自然災害などにより落ち込んだ点などが理由として挙げられます。さらに2008年10月以後の世界的な金融不安が追い打ちをかけ、実態経済に悪影響を及ぼしました。

ニュージーランド政府は公共投資の拡充、法人所得税、個人所得税の税率の引下げなどの景気対策を2008年4月から行い、また金融当局も政策金利の引下げを実行しました。これらの施策などにより、小売売上高が下げ止まるなど個人消費が戻り、隣国オーストラリアや中国その他アジア諸国の景気底打ち感が、輸出においてもプラスにはたらき、2009年第2四半期で不景気からの脱却となったわけです。さらに2009年第3四半期のGDPも前期比プラス0.2%となり、また住宅着工も2009年10月から回復に転じました。

南島のネルソン地区に所在するNPILはMDF (Medium Density Fibreboard)、単板とLVL (Laminated Veneer Lumber) を製造しています。1984年10月に設立されたNPILは昨年10月に設立25周年を迎えました。

一基の連続式平板プレスでスタートした同社は今では3つ連続式プレスを持ち、年間35万m³の生産能力の中で2.5mm厚から30mm厚のMDFを生産しています。プレスの幅は8尺と6尺を備え、幅広い製品サイズの要望に対応しています。原料はネルソン-マールポロ地区で植林されているラジアタパイン一樹種を使用するため、均一な品質と美しい色のMDFの製造が可能です。また各国公的機関による認証 (JIS、CARB) も取得済みで、日本市場向けに対してはほぼ全てのアイテムについてF☆☆☆☆品の出荷を行っております。

また、2001年には単板、翌年にLVLの生産も開始しました。原料はMDFと同じくラジアタパイン一樹種のみを使用しており、LVLプレスも連続式を採用しています。現状は日本、オーストラリア、中東、ニュージーランドなどに販売しており、各国での品質要求に応えるため、MDFと同様に各国公的機関による認証 (JAS、オーストラリア合板協会認証など) を取得しています。2010年も、状況が変化するスピードが増し、さらに変化の幅が大きくなってくると思います。いかに素早く各国の市場動向、変化をとらえ、対応できるかが益々重要となります。そんな中で、我々は持続可能な木材資源の有効活用を通して、取引先様にお役に立てるように取り組むとともに、環境との共生も更に進めて参ります。

(Nelson Pine Industries Limited 矢澤慶一郎課長)



中国（大連）

チャレンジの2010年

大連住林情報技術服務有限公司(大連ITS)は2005年9月、住友林業100%出資により住友林業グループの業務委託会社として大連市に設立されました。大連は小説『坂の上の雲』にも登場する、歴史的にも日本と縁の深い都市です。また外国企業の誘致が盛んであり、日本からのアクセスも便利、さらに日本語を学ぶ人材も大変豊富であることなどから日本が国別投資額ランキングの第3位となっています。

このような背景から、会社設立当初は住友林業のコストダウンセンターとして貢献するべく「住友林業の家」のCADデータ設計業務と、住宅資材仕入販売の伝票処理業務をスタートさせました。現在では上記業務の他に住友林業グループから様々なBPO業務（Business Process Outsourcing）を受託しております。

しかしながら2008年のリーマンショック以降、住友林業グループを取り巻く環境も激変しました。最大のインパクトはやはり国内住宅着工戸数の減少でしょう。その影響で当社に要求されるコスト削減効果は大変厳しい内容に変わってきています。我々は2009年度を「我慢しながら会社を筋肉質なものに変えていく重要な年」と位置づけ、給与体系の変更や事務所移転、一人当たりの業務効率の向上などに取り組んできました。その結果、会社設立以来初となる単年黒字を達成することができました。この場を借りてこれまでお力添えを頂いた関係者の皆様に、心よりお礼を申し上げます。

さてもう少し詳しく当社の業務をご紹介します。現在受託している業務カテゴリーは3つあります。①CADデータ設計（「住友林業の家」のCADデータ設計、備品図データ作成、CADシステムの検証など）②業務・事務代行（伝票チェック、勤怠管理・勤務時間計算、各種データ入力や資料作成、賃



貸物件入居者への契約更新資料の取りまとめと発送など）③営業サポート業務（住宅建材の見積書作成、営業用プレゼンテーション作成、Web広告用データ入力、間取り平面図／収納図面作成など）。

2010年度はこれらの業務の精度の向上だけでなく、新たに規模の拡大にチャレンジする年です。特にCADデータ設計業務では、生産棟数の拡大が至上命題です。また、グループ各社に共通して存在する業務、例えば勤怠管理や伝票処理、各種図面作成などの取り込みに積極的にアプローチしていく事も重要なテーマです。その他、新しい取り組みとして、オーストラリアにある2×4関連会社（Henley Homes）のCAD業務受託を予定しています。日本以外からの業務受託は初の試みとなりますが、現在当社スタッフ1名が現地で技術研修を受けており、4月から業務を開始できる見込みです。今後はこの取り組みを契機として2×4のCAD業務を中心に海外住宅事業のサポート業務に繋げていくことがテーマとなっています。

2009年度、中国は積極的財政支出と金融緩和策により、いち早く経済危機を乗り越えようとしてきました。その半面、資産バブルや不良債権増加の懸念が高まっています。また消費者物価指数や平均賃金の上昇も見られることから、長期的には人件費等のコストが上昇していくことは必至です。また元の切り上げ圧力も高まるなど、当社を取り巻く環境は徐々に厳しくなる事が予測されます。そのよ

うな環境下でも安定して機能を発揮できるようこれからも取り組んでまいります。

(大連住林信息技术服务有限公司 水野隆部長)

中国（阜新）

グループ初の中国合板工場

阜新住林木業有限公司は中国遼寧省の省都である瀋陽市から西に250kmに位置する阜新市に、2008年7月に会社設立された中国では住友林業グループ初となる合板工場（100%出資）です。現在、住友林業からは浅野文彦総経理（社長・写真中央）と小職の2名が現地駐在しています（阜新市在住の日本人も我々2名のみ）。当地冬場の最低気温はマイナス20～30度、昔のコマーシャルであったようなバナナで釘が打てる程の過酷な寒さの中、想定外のトラブルに悪戦苦闘しながらも、試行錯誤を繰り返しながら、工場立ち上げに取り組んでいます。

当社の計画している主な生産品目は、当地の植林ポプラを原料とした普通合板（3'×6'、4'×8'）、フロア台板、LVLです。今年度の計画では人員230名、生産数量は月産5,300m³を見込んでいます。主な販売先としては現在、中国国内の他、日本、東南アジアを予定しています。又、工場から車で1時間ほどにある阜新市彰武県の林地を借り受け、28haのポプラの試験植林を実施しています。

当社は、会社設立から1年3ヶ月の工場建設・生産準備期間を経て、昨年10月18日に工場、事務所、福利厚生棟などの主要施設が完成いたしました。当日は遼寧省陳海波副省長、潘利国阜新市長をはじめとする数多くの政府関係者、また在瀋陽日本総領事館の松本盛雄総領事を含め300名近いお客様にご出席を頂き、大量の花火・爆竹が鳴り響く中、盛大に開業式典を執り行いました。この様子は同市初の日系企業の開業として、地元テレビ局、新聞でも大きく取り上げられるなど、非常に大きな注目を集めています。

我々が事業展開する阜新市は人口192万人



の地方都市で、かつては炭鉱都市として中国国内で重要な役割を果たしていました。然しながら1990年代以降、過度な採掘による石炭の枯渇と共に経済地盤も低下し、現在は新たな産業の発掘・育成に力を注いでいます。その中で液圧工業などと共に注目されているのが、近隣の木材資源を生かした木材加工業です。

阜新市の北側は内モンゴル自治区に隣接する、風が非常に強い地域です。阜新市近郊は風害対策として、1970年代以降ポプラの植林が行われてきました。又、最近では政府の緑化推進政策及び、東北地方の木材加工産業の育成政策と並行してポプラの植林が非常に盛んです。同エリアでは伐期を迎えた豊富な木材資源の活用と、関連産業の育成が地域経済の発展の大きな柱として位置付けられています。このような背景の下、地元政府は持続可能な木材資源の活用を目指す住友林業グループの事業展開に注目しており、当社に非常に大きな期待を寄せています。

昨今大変厳しい市況ではありますが、2010年は現在展開する合板製造事業を軌道に乗せ、阜新住林木業の土台を固める1年であると同時に、地域の期待に応え、今後無視する事の出来ない中国という大きな市場の中で、将来の住友林業グループの中国における木材製品製造事業拡大の基礎を固める1年にすべく、全力で取り組んでいく所存です。

皆様、今後も引き続き阜新住林木業有限公司へのご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。

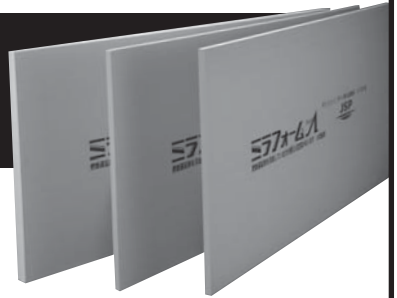
(阜新住林木業有限公司 井上直彦部長)

JSP

ますます進化し、使いやすくなったJSPの建築資材ボード。
高い断熱性能と優れた特性で、住宅の性能を向上させます。

高性能・新次世代型断熱材

ミラフォーム[®]ラムダ

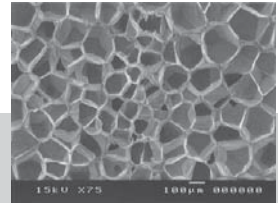


限界を超越した断熱性能!!

「ミラフォーム」に特殊技術を加えることで、今まで押出法ポリスチレンフォームでは
限界とされていた断熱性能をさらにレベルアップすることに成功しました。

〔熱伝導率0.022W/m・K(23℃)〕

住宅の高性能化が推進される中、画期的断熱材として期待が寄せられています。



ミラフォームΛ(ラムダ)の気泡写真

●超高性能な断熱性

熱伝導率0.022W/m・K(23℃)を実現。
吸水性が低く安定した性能を發揮します。

●環境・健康・安全対策

ノンフロン・ノンホルムアルデヒド・4VOC基準に適合。

●優れた機械物性

ミラフォーム同様 曲げ強度(靱性)に高い性能を發揮。

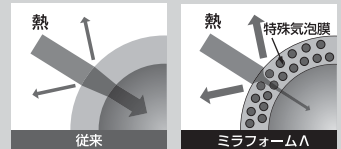
高断熱のメカニズム

気泡膜の新技术による
輻射熱の抑制・ガスバリア性UP

+

気泡形状による
熱伝導の抑制効果

超高断熱化の実現



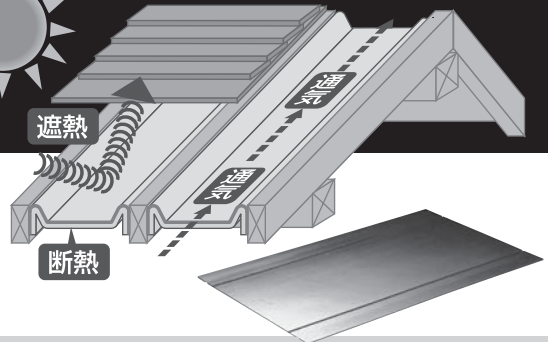
熱が気泡膜を透過するイメージ

遮熱ボード 屋根通気・遮熱の決定版!!

ミラスル

遮熱 + 通気 + 断熱

の三要素を兼ねそなえた総合部材。
屋根通気・遮熱のニューウェーブ登場。



- 1 アルミ蒸着フィルムを面に採用し、赤外線の侵入を低減。
- 2 従来の通気用部材になかった断熱性能をプラス。
- 3 簡単折り曲げ形状により、垂木間への施工がラク。
- 4 剛性の高い発泡層と製品形状で通気層を確保。
- 5 野地板施工後やリフォーム等の後施工でも使用可能。
- 6 発泡ポリスチレンの独立気泡構造に高い断熱性能を長期保持。

折り曲げて、
垂木に押し込むだけで
通気層を確保!

株式会社 JSP 建築土木資材カンパニー

建築土木資材カンパニーホームページ <http://www.co-jsp.co.jp/kenzai/>

住宅資材部 〒100-0005 東京都千代田区丸の内3-4-2(新日石ビル) TEL 03-6212-6363 FAX 03-6212-6369

住宅版エコポイント制度がスタート



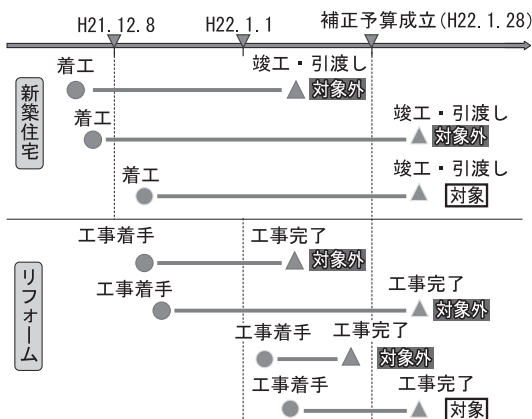
1月28日、緊急経済対策が柱となる平成21年度第2次補正予算が成立し、「住宅版エコポイント制度」がいよいよ本格的にスタートする。景気の二番底回避を見据えた約7兆2千億円規模の経済対策のうち、1千億円が住宅版エコポイント制度の創設に向けられ、住宅着工数が年計で80万戸を割り込む中、業界内外から大きな注目と期待を集めている。

今回創設された「住宅版エコポイント制度」は第2次補正予算成立日（1月28日）以降に工事が完了した物件を対象に実施される。既に実施されている家電版のエコポイント制度同様、商品券やプリペイドカード、地域産品等とも交換できるが、「住宅版」では、エコポイント対象となる工事と一体的に実施するほかの工事にもそのポイントを充当できることが大きな特徴だ。今月は、まず先頃国土交通省より発表された制度の概要を整理してみた。

1. エコポイントの発行対象となる期間

- 平成22年1月28日以降に工事が完了し、引き渡された住宅が対象。

ただし①エコリフォームについては、「平成22年1月1日以降に工事に着手（ポイント対象工事を含む工事全体の着手）したもの」②エコ住宅の新築については、平成21年12月8日以降に建築着工したものに限定。①②いずれも平成22年12月31日までに着工・着手したものが対象となる。



2. 発行対象及び発行ポイント数

- 持家・借家、戸建住宅・共同住宅等の別によらず対象となる。国からの補助を受けて窓や外壁などの断熱工事を行っている場合は、エコポイントの発行対象外。ただし、高効率給湯器や太陽光発電設備等については、ポイント対象工事に該当しないため、これらに対する補助を受けていても、エコポイントの発行対象になる。

(1) エコリフォーム

- ①窓の断熱改修又は②外壁、屋根・天井又は床の断熱改修工事をそれぞれポイントの発行対象とする。また①又は②の工事と一体的に実施する場合に限って、③バリアフリー改修工事も対象とする。

- ①+②+③=30万ポイントが一戸あたりの上限。

(2) エコ住宅の新築

- 次の①省エネ法に基づくトップランナー基準相当の住宅又は②省エネ基準を満たす木造住宅に該当する住宅の新築工事。

● 1戸あたり30万ポイント。

■ **エコポイントの発行対象**

平成22年1月28日以降に原則として工事が完了し引き渡された住宅が対象

①エコリフォーム (平成22年1月1日～平成22年12月31日に工事着手したもの) ・窓の断熱改修 〈内窓設置(二重サッシ化)、ガラス交換(複層ガラス化)〉 ・外壁、天井又は床の断熱材の施工 ※これらに併せて、バリアフリーリフォームを行う場合、ポイントを加算
②エコ住宅の新築 (平成21年12月8日～平成22年12月31日に建築着工したもの) ・省エネ法のトップランナー基準 〈省エネ基準+α(高効率給湯器等)〉相当の住宅 ・木造住宅(省エネ基準を満たすものに限る)

■ **発行ポイント数**

①エコリフォーム(1戸あたり300,000ポイントを限度とする。)

●内窓取付け・外窓交換

大(2.8㎡～)	中(1.6㎡～2.8㎡)	小(0.2㎡～1.6㎡)
18,000ポイント	12,000ポイント	7,000ポイント

●ガラス交換(ガラスごと)

大(1.4㎡～)	中(0.8㎡～1.4㎡)	小(0.1㎡～0.8㎡)
7,000ポイント	4,000ポイント	2,000ポイント

●外壁、屋根・天井、床の断熱改修

外壁	屋根・天井	床
100,000ポイント	30,000ポイント	50,000ポイント

●バリアフリー改修(50,000ポイントを限度とする。)

手すりの設置	段差解消	廊下幅等の拡張
5,000ポイント	5,000ポイント	25,000ポイント

②エコ住宅の新築：1戸あたり300,000ポイント

3. **エコポイントの申請方法**

●エコポイントの申請は、原則として、住宅の所有者が、別途、公募により選定する事務局に対して行う。個人・法人の別、また、建築主・購入者の別によらず、申請が可能。新築住宅を対象としてポイントの発行申請ができるのは、住宅の所有者がかわっても、1住戸につき、1回のみ。

4. **エコポイントの交換**

(1) **ポイントの交換対象**

①省エネ・環境配慮に優れた商品
②全国で使える商品券・プリペイドカード (商品の提供事業者が環境寄付を行うなど環境配慮型のもの、公共交通機関利用カード)
③地域振興に資するもの(地域商品券、地域産品)
④環境寄附

(2) **即時交換**

エコリフォームによって取得したエコポイントを、当該エコリフォームを行う工事施工者が追加的に実施する工事の費用に充当できる。エコ住宅の新築の方も、取得したエコポイントを、当該新築工事を行う工事施工者が追加的に実施する工事の費用に充当できる。

— ☆ **住宅版エコポイント制度Q&A** ☆ —

Q 2世帯住宅を新築する場合は、30万ポイント×2戸で、合計60万ポイント発行されるのですか？

A その2世帯住宅が、2住戸であった場合は、住戸それぞれに対して30万ポイントが発行されます。

Q 自分で内窓を設置するなどのリフォーム行った場合は対象になりますか？

A 工事請負契約を伴わないリフォーム工事は対象となりません。

Q 混構造(1階が鉄筋コンクリート造で、2階が木造)の場合は、木造住宅に該当しますか？

A 確認済証や建築工事届等において、主たる建築物の構造が「木造」と記載されているものであれば、木造住宅に該当します。

Q 窓の断熱改修工事や外壁等の断熱改修工事で一体的に行うバリアフリー改修工事にはどのような工事がありますか？

A ①手すりの設置、②段差解消、③廊下幅等の拡張があります。バリアフリー改修工事単独では、エコポイントの発行対象にはなりません。

Q 長期優良住宅先導的モデル事業や長期優良住宅普及促進事業の補助とエコポイントとの併用はできますか？

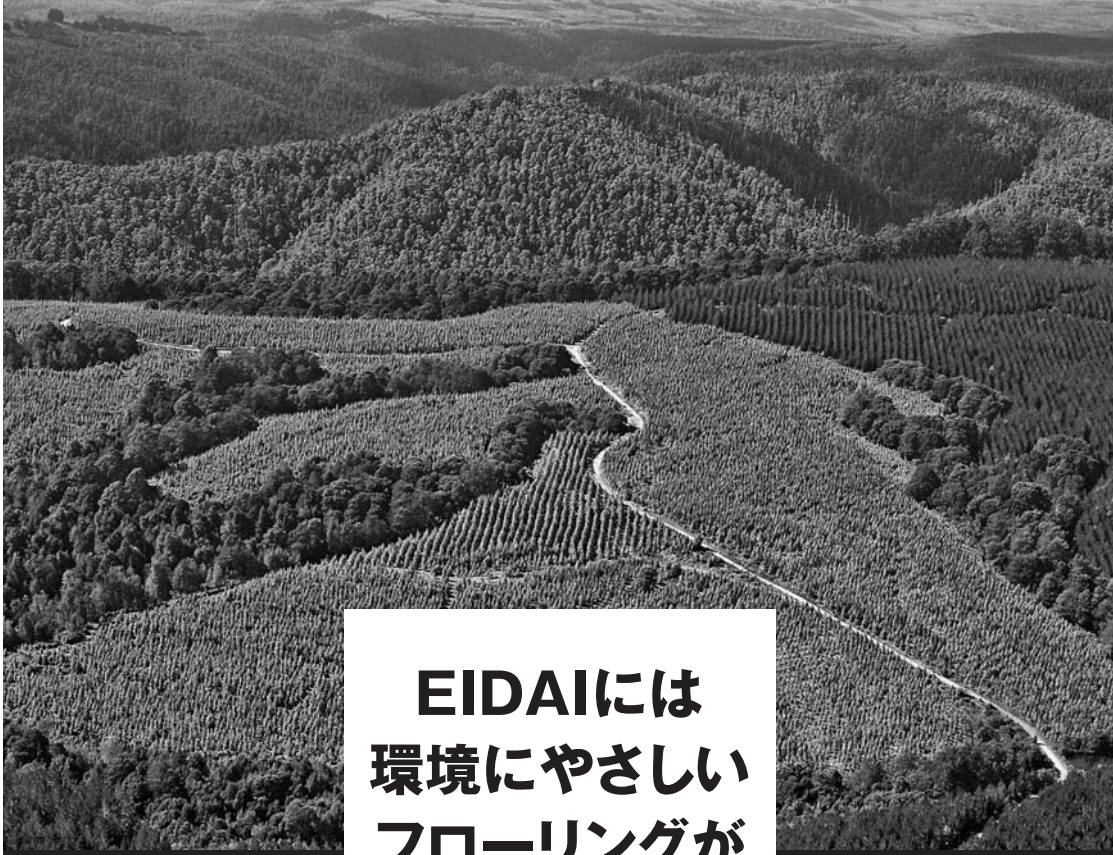
A 併用できません。

Q 新築時に30万ポイント取得して、その後エコリフォームを行った場合は更にエコリフォーム分のポイントも発行されますか？

A 1戸あたり30万ポイントが上限となります。新築時に30万ポイント発行されている場合は、エコリフォームのポイントは発行されません。

(※1/29時点での開示情報に基づく。詳細は国土交通省HP「住宅版エコポイント制度の実施について」をご参照下さい。)

次号においても「住宅版エコポイント制度」関連の情報を引き続きレポートする予定。



**EIDAIには
環境にやさしい
フローリングが
あります**

写真提供: Forestry Tasmania



深刻化する環境破壊に歯止めをかけるため、「大量に生産・消費・廃棄する社会」から、「持続可能な社会」への転換が急務となっています。森林にはCO₂(二酸化炭素)を吸収し、C(炭素)を固定化する働き、すなわち地球温暖化を防止する公益的機能がありますが、その機能を十分に発揮させながら木材を利用していくためには、やはり持続可能な管理のもと、ルールに基づいた使い方を継続していかなくてはなりません。木材は私たち人間にとって最も身近な存在であり、また再生可能な資源です。EIDAIは持続可能な社会を確立させるため、合法的かつ再生可能な木材利用を推進し、なお一層、社会に貢献する企業でありたいと考えています。その具体的な取り組みの一環として2006年11月、フローリングの製造に関し業界初のPEFC-CoC認証を取得しました。そして、2007年6月、認証材である「タスマニア産ユーカリ合板」を用いたフローリング「エコメッセージフロア」の発売を皮切りに、認証材への置換を推進しています。今後も、フローリングを通して、持続可能な社会の確立に貢献していきます。



PEFC-CoC認証フローリング

ECOMESSAGE

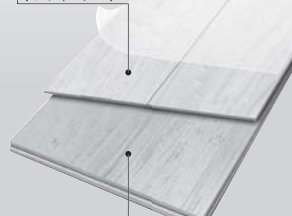
エコメッセージパートナーズ

「地球にも」「人にも」「ペットにも」やさしい。すべりにくく
愛犬の歩行も快適、傷もつきにくい、お手入れ簡単な「Nグリップシート」を採用。
人と愛犬と共に暮らせるフローリングです。

防滑性と耐傷性、耐候性、耐汚染性を併せ持ち、ナチュラルな木肌感と手触りをリアルに再現した「Nグリップシート」。

Nグリップシート

特殊防滑コート
オレフィンシート



PEFC-CoC認証合板

※PEFC認証タスマニアユーカリが70%以上使用しています。

防滑性	ペット対応	耐凹み傷
耐すり傷	耐汚染	ノンワックス
耐候性	耐アンモニア	耐水加工
耐ヒビ割れ	耐摩耗	床暖房 仕上げ材
ホットカーペットOK	抗菌加工	

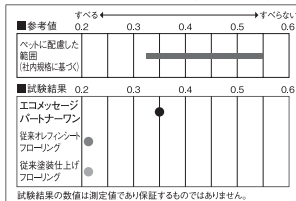
F★★★★ 低VOC



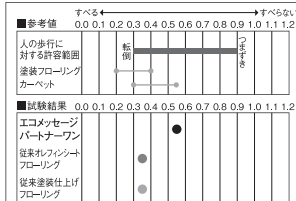
すべりにくいので
人とペットにおすすめ

Nグリップシートを採用し、人と犬のすべりにくさを考慮したすべり抵抗値を実現。

■ペット(犬)に対するすべり評価値(C.S.R-D'値)



■人に対するすべり評価値(C.S.R値)



出展:東京都福祉のまちづくり条例施設整備マニュアル(平成21年度版)

凹み傷に強い

高比重のユーカリ合板の採用で、キャスター付き家具や車イスを使用したり、食器や缶などを落としたときにできる凹み傷に強さを発揮します。



すり傷に強い

Nグリップシートの採用で、イスや掃除機、ペットの爪によるすり傷などがつきにくくなっています。



ノンワックスでお手入れ簡単

Nグリップシートは汚れや傷がつきにくいので、ワックスがけは必要ありません。日ごろのお手入れは拭くだけで簡単にきれいになります。



直射日光に強い

Nグリップシートは直射日光を浴びても退色することがないので、陽の光をたっぷり取り込めます。またヒビ割れもありません。



トイレ・サニタリーに使える

アンモニアや漂白剤に強く、R溝にもフィルムがあることで溝部からの尿などの水分の浸入を軽減します。



床暖房や
ホットカーペットも
安心して
使えます

木肌感が
いつまでも
続きます

木を活かし、よりよい暮らしを

EIDAI

www.eidai.com

EIDAIショールーム 営業日、営業時間はショールームにより異なりますので、事前にご確認のうえお越し下さい。

札幌 011-879-5746	新潟 025-382-3311	仙台 022-782-1788	静岡 054-237-8372	新宿 03-3349-1971	金沢 076-252-5302	名古屋 052-354-4310	京都 075-623-0294	梅田 06-6346-1011	岡山 086-241-7641	広島 082-278-7110	博多 092-641-6036	沖縄 098-864-2810
-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	------------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------

お客様相談センター

☎ 0120-685-110
E-mail: cs@eidai-sangyo.co.jp
受付時間 平日 9:00~19:00
土日祝 9:00~18:00
休業日 年末年始



ここで一息

vol.16



Coffee Break

〔藤井繁子Profile〕
元「月刊HOUSING」編集長、現在
リクルート住宅総研 主任研究員も務める住生活ジャーナリスト。
ブログ【Vivien研究員の暮らしと住宅業界裏話】更新中!

ネットの発信力に期待、「カタらボ」(建産協)

前回、住宅展示場が販売チャネルとしてまだ進化する可能性があると書きましたが、今回は対極にあるインターネット・メディアについて最近の動向をレポートします。

住宅建築者の54.2%がHP利用

2009年の注文住宅建築者調査(*)では「利用した情報源(複数回答)」において「住宅会社のホームページ」は54.2%と半数以上の施主が利用したという結果。これは「住宅設備メーカーのホームページ」利用39.7%と共に毎年増加のトレンドです。減少する「新聞広告」17.5%や「折込チラシ」37.5%利用者を上回って久しく、「建築した人によるブログ」も32%と3人に1人が利用し、インターネットは家づくりの情報源として定着しています。

当然、各社のホームページも年々進化を続け1月にはダイワハウスからTwitterが使える「デスクトップジーヴォ」がリリースされるなど、eメール・携帯電話を含めてエンドユーザーとのeコミュニケーション力は益々強化されています。ちなみに先行するネット社

会のアメリカでは、全米ホームビルダー協会(NAHB)がホームページで、Twitterの他FacebookやLinkedInなどのSNSやYouTubeを展開・活用し、ビルダー会員との情報交換だけでなく顧客獲得ツールとして利用するようにビルダーを教育しています。

「カタらボ」にアクセス急増中

私が最近注目した住宅業界のネット活用に(社)日本建材・住宅設備産業協会(建産協)の住宅設備電子カタログサイト「カタらボ」があります。元は2000年から「KISS」という名称で運用されていた建材設備データベースサイトを昨年(10月21日)抜本的に再構築し新オープンしたのですが、12月時点のカタログ掲載企業数は108社・カタログ数295冊と充実。当サイトの月間アクセスも370万ページビューを超え、電子カタログ利用者は毎月倍増の勢いで広まっているようです。利用者というのは現状、設計事務所や工務店のプロユーザーですが、利用者に登録など一切いらず操作が簡単なのでエンドユーザーにも浸透する可能性は十分です。紙のカタ

*2009年リクルート月刊「HOUSING」調べ





建材・住宅設備会社のカタログが電子ブック形式で見れ、部位・カラー・機能などフリーキーワードでページ検索までできる。マイバインダーに採用する建材・設備を登録すれば郵別カタログ化も簡単に！（建産協：伊藤・松本 03-5640-0901）

ログを一杯もらって嬉しい世代と鬱陶しい世代、そろそろ施主の主流が入れ替わる時期でしょう。

コスト削減と環境対策が実現

このサイトを運営する建産協の目的は、協会会員である建材・設備メーカーのコスト削減と業務効率のUP、またこれを利用する建築設計・企画者の利便性を上げて売上に貢献すること。電子カタログのコストでは、大手企業（カタログ50冊・7000頁/年）が自社単独で運用してきたものと比較して年間700万円以上のコスト削減と試算。今まで電子カタログを利用していなかった中小企業（カタログ10冊・200頁/2年）であれば年10万円でスタートできるという社団法人ならではの価格設定で掲載会社の裾野を広げたい意向。併せて、ある建材・設備会社1社を見ても年間間に使用するカタログ用の紙は6000トンにも上るとの事、紙カタログを減らす環境対策としても重要なアクションです。

今後はCADデータとの連携やEDI（Electronic Data Interchange電子データ交換）も推進し設計、受発注段階における業務効率

向上も目指すという事です。

業界一堂のグローバル戦略を

私はこのサイトを見て「インターネット＝グローバル」を視野に入れて欲しいと要望しました。以前ある海外展開していない設備メーカーが「海外の建築事務所からネットを通じて注文問い合わせがあった」という話を聞いたことがあり、特徴のある商品は英語サイトが無くても世界に発信できると気付きました。この「カタラボ」に英語でキーワードを埋め込むなり、ネット検索に引っ掛かる工夫をすれば世界の設計事務所に注目してもらえる可能性があります。特に、建築関連でも環境性能は日進月歩で世界が競うカテゴリーであり、ネットで世界に向けて環境建材の“Japan Quality”を全部位トータルでアピールする場を演出すべきと考えます。

国内市場が先細りの中、現状のコスト削減が急務である一方、伸びシロのある海外は経産省や住宅関連産業が業界挙げて取り組むべき市場。国内外双方の課題に効果を上げることができそうな当サイトを注目しています。



ニチハ

風光

HOOKOU

風光。テーマは光と影。

深いエンボス、光沢を抑えたフルマット塗装、
ピュアな光のイメージから生まれた、
モノトーンの高質感。

全プロダクトを 21mm厚 × 10尺で製作した窯業系外壁材。
4つのデザインをラインアップし、
ニチハの新たな挑戦が始まります。

監修：インテリアデザイナー 杉本貴志

平成21年12月の新設住宅着工

△は減

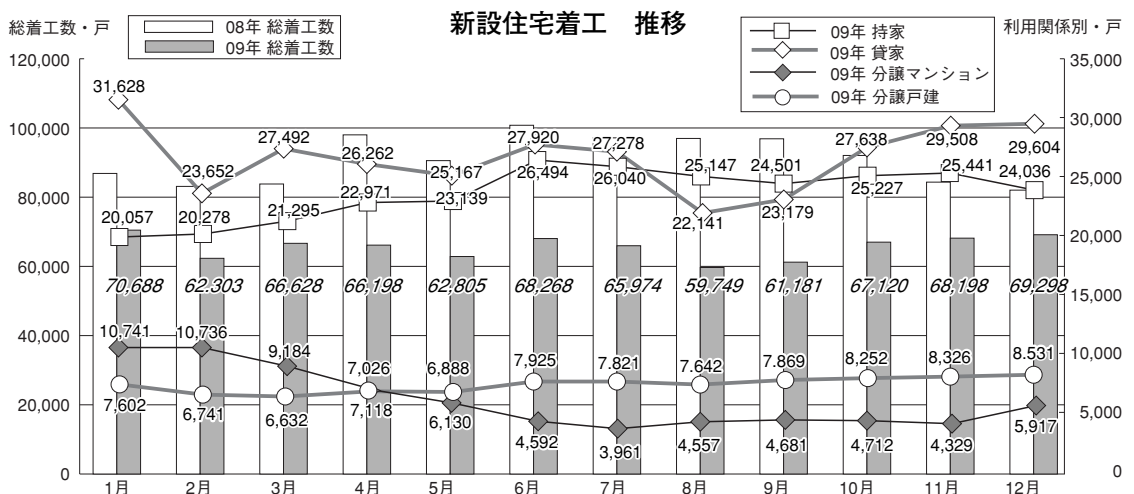
		12月						11月	10月	平成21年 9月
		対前月比			対前年同月比					
		(戸)	(%)	(%)	(戸)	(%)	(%)			
新設住宅計		69,298	1,100	1.6	△ 12,899	△ 15.7	68,198	67,120	61,181	
建築主別	公 共	2,156	3	0.1	763	54.8	2,153	2,113	1,117	
	民 間	67,142	1,097	1.7	△ 13,662	△ 16.9	66,045	65,007	60,064	
利用関係別	持 家	24,036	△ 1,405	△ 5.5	710	3.0	25,441	25,227	24,501	
	貸 家	29,604	96	0.3	△ 8,701	△ 22.7	29,508	27,638	23,179	
	給与住宅	1,148	576	100.7	557	94.2	572	1,207	874	
	分譲住宅	14,510	1,833	14.5	△ 5,465	△ 27.4	12,677	13,048	12,627	
資金別	民間資金	60,032	841	1.4	△ 13,947	△ 18.9	59,191	57,980	54,017	
	公 的 資 金	9,266	259	2.9	1,048	12.8	9,007	9,140	7,164	
	公 営 住 宅	1,251	△ 391	△ 23.8	306	32.4	1,642	1,433	834	
	住宅金融機構融資住宅	4,058	58	1.5	596	17.2	4,000	3,990	3,384	
	都市再生機構建設住宅	4	4	—	△ 145	△ 97.3	0	0	8	
	その他の住宅	3,953	588	17.5	291	7.9	3,365	3,717	2,938	
構造別	木 造	40,655	△ 127	△ 0.3	△ 1,687	△ 4.0	40,782	38,945	36,410	
	非 木 造	28,643	1,227	4.5	△ 11,212	△ 28.1	27,416	28,175	24,771	
	鉄骨鉄筋コンクリート造	137	△ 273	△ 66.6	△ 550	△ 80.1	410	217	366	
	鉄筋コンクリート造	14,514	2,341	19.2	△ 5,978	△ 29.2	12,173	14,050	12,664	
	鉄 骨 造	13,870	△ 838	△ 5.7	△ 4,710	△ 25.3	14,708	13,745	11,659	
	コンクリートブロック造	82	30	57.7	55	203.7	52	39	37	
	そ の 他	40	△ 33	△ 45.2	△ 29	△ 42.0	73	124	45	

プレハブ新設住宅戸数 一構造別・利用関係別一

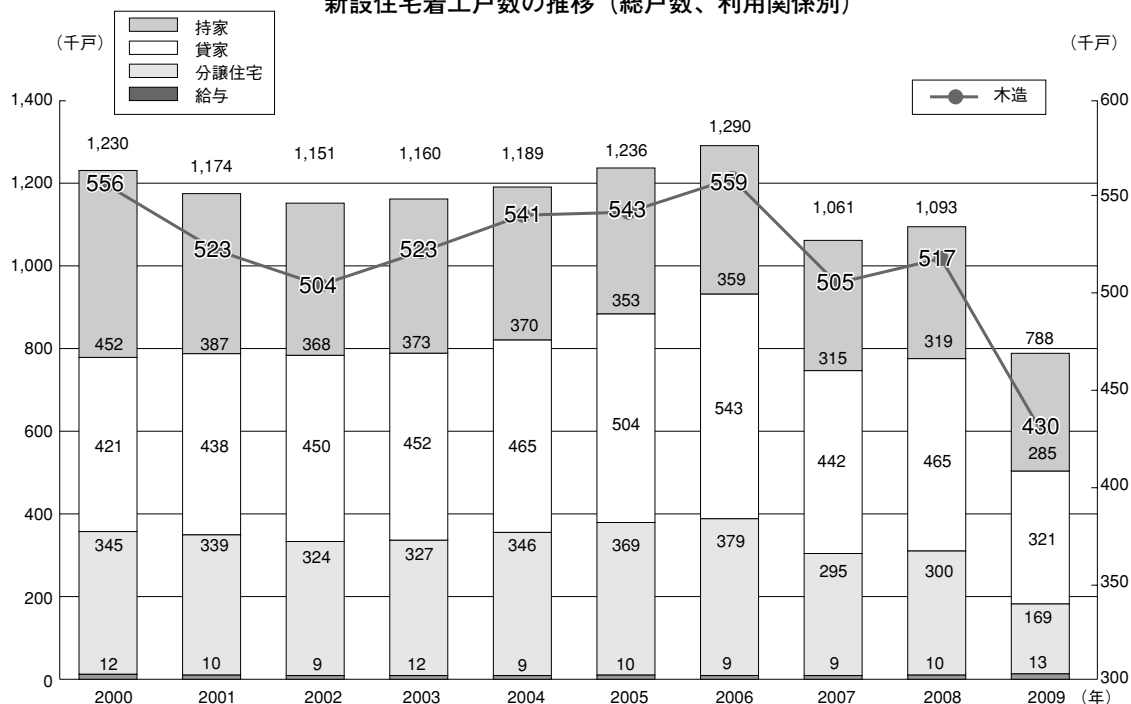
構造別	戸	対前月比		対前年同月比		利用関係別	戸	対前月比		対前年同月比	
		(戸)	(%)	(戸)	(%)			(戸)	(%)	(戸)	(%)
合 計	10,675	△ 1,106	△ 9.4	△ 1,739	△ 14.0	持 家	4,529	△ 278	△ 5.8	510	12.7
木 造	1,324	92	7.5	△ 238	△ 15.2	貸 家	5,675	△ 1,016	△ 15.2	△ 2,162	△ 27.6
鉄筋コンクリート造	117	△ 115	△ 49.6	△ 22	△ 15.8	給与住宅	67	40	148.1	17	34.0
鉄骨造	9,234	△ 1,083	△ 10.5	△ 1,479	△ 13.8	分譲住宅	404	148	57.8	△ 104	△ 20.5

枠組壁工法（ツーバイフォー）新設住宅戸数 一利用関係別一

利用関係別	合計	対前月比		持家		貸家		給与住宅		分譲住宅		
		対前年同月比		対前年同月比		対前年同月比		対前年同月比		対前年同月比		
		戸	%	戸	%	戸	%	戸	%	戸	%	
木造	9,981	484	5.1	2,555	66	2.7	6,262	338	5.7	6	△ 5	△ 45.5
		△ 330	△ 3.2	131	5.4	△ 370	△ 5.6	△ 7	△ 53.8	1,158	85	7.9
											△ 84	△ 6.8



新設住宅着工戸数の推移（総戸数、利用関係別）



平成21年 年間新設住宅着工

前年比▲27.9%、45年ぶり80万戸割れの788千戸

新設住宅着工戸数・工法別

(単位：戸)

	総数		木造	プレハブ	2×4
		前年比			
2000年 (平成12年)	1,229,843	101.3%	555,814	175,069	79,114
2001年 (平成13年)	1,173,858	95.4%	522,823	165,257	77,235
2002年 (平成14年)	1,151,016	98.1%	503,761	160,871	78,988
2003年 (平成15年)	1,160,083	100.8%	523,192	159,224	81,502
2004年 (平成16年)	1,189,049	102.5%	540,756	159,930	90,706
2005年 (平成17年)	1,236,175	104.0%	542,848	156,254	95,824
2006年 (平成18年)	1,290,391	104.4%	559,201	160,347	105,390
2007年 (平成19年)	1,060,741	82.2%	504,546	145,360	98,555
2008年 (平成20年)	1,093,485	103.1%	516,868	154,271	107,707
2009年 (平成21年)	788,410	72.1%	430,121	125,263	91,394

平成21年の新設住宅着工戸数は前年比▲27.9%、▲305,075戸の788,410戸となった。

通年ベースでの100万戸割れは42年ぶり、80万戸を割ったのは実に45年ぶりとなった。

持家10.6%減、貸家30.8%減、分譲マンション58.0%減、分譲戸建は3年連続で減少し21.2%減となった。

床面積は前年比24.7%減の68,324千㎡。

12月単月では、先月14ヶ月ぶりにプラスとなった持家が2ヶ月連続で増加。ただし、貸家・分譲ともに減少したため、全体で13ヶ月連続の減少となった。

建築確認の申請・交付数は共に2ヶ月連続の増加となっており、「住宅版エコポイント制度」の好影響にも今後期待が寄せられる。

屋根用

遮熱・透湿防水シート

FUKUVI 

遮熱性

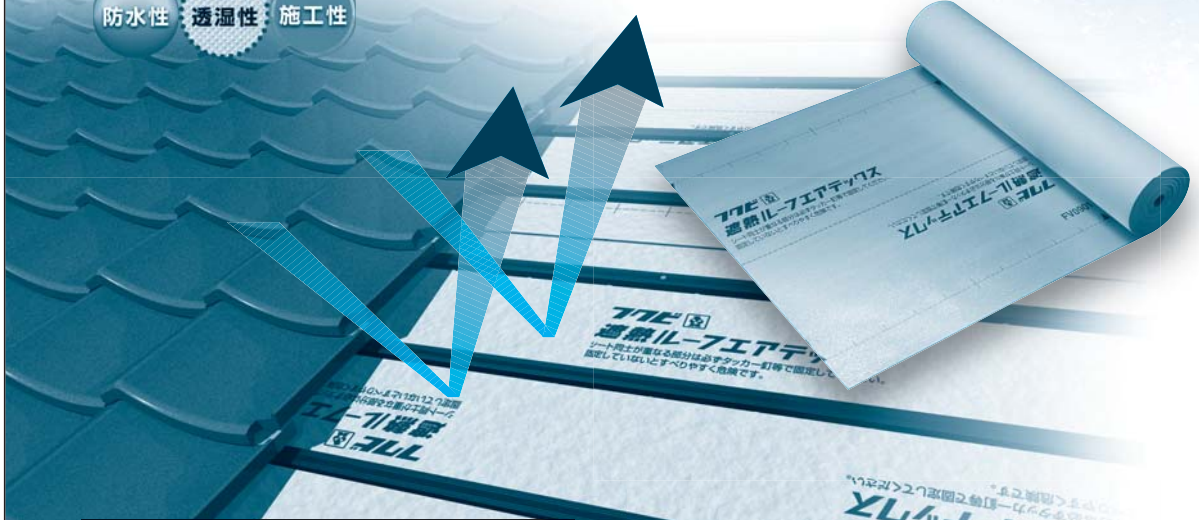
防水性

透湿性

施工性

FUKUVEE 遮熱ルーフエアテックス

高遮熱&透湿性で
快適・省エネ・高耐久の家造りをサポート

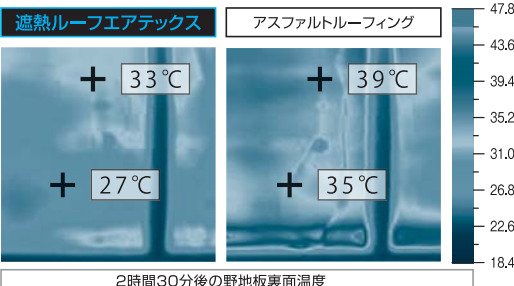


野地板裏面温度を

6~8℃低減

片面照射試験

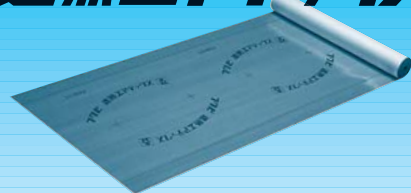
真夏を想定して、遮熱ルーフエアテックスを施工した場合と、一般的によく使われるアスファルトルーフィング材を施工した場合の温度変化をサーモグラフィーを用いた実験で比較しました。



壁用「遮熱エアテックス」と
セットで更に遮熱効果アップ!

壁用 遮熱・透湿防水シート

FUKUVEE 遮熱エアテックス



遠赤外線を 約90%反射
侵入熱量 約40%低減

弊社製遮熱機能なし透湿防水シートとの比較

 フクビ化学工業株式会社

本社/福井市三十八町33の66 ☎(0776)38-8013 〒918-8585

工場/本社・坂井(福井)・三方(福井)・大阪・タイ国・USA

<http://www.fukuvi.co.jp/>

sunwave

建材マンスリー

昭和三十九年八月創刊
発行人 上山英之
第四十七巻 平成二十二年二月一日発行(毎月一日発行) 通巻第五三三号
発行所 建材マンスリー編集室



グッと、カラフルに。サンヴァリエ〈ピット〉

人気のドアポケット「パタパタくん」をはじめ、使うための収納が充実したベストセラーキッチン〈ピット〉。扉カラーや人造大理石シンクがさらにカラフルになり選ぶ楽しさがますますアップ。

“あなた色のキッチン”が見つかります。

50colors!

選べる 扉デザイン・カラー

ライン取手&高光沢仕上げの扉、シャイニーカラーシリーズが新登場。多彩なテイストでご希望のイメージにピッタリのカラーがきっと見つかります。



9colors!

選べる 人造大理石シンク

扉と同色のコーディネートが選べる明るいキャンディートーンのシンクを追加。落ち着いた中間色と合わせて2テイストのラインナップになりました。



2009年度
グッドデザイン賞
受賞



ワンタッチで開き、取り出しやすい「ドアポケット」

スーパーシステムキッチン
SUNVARIE
Pitto
サンヴァリエ〈ピット〉

2010.2.18 新色登場!

ショールームやカタログで、「サンヴァリエ〈ピット〉」を実感してください。

くわしくは、☎0120-1905-21 または、www.sunwave.co.jp ※ホームページは

※PHS・IP電話等でつながらない場合は、恐れ入りますが03-5283-8760におかけください。サンウェイブ 検索 検索で検索できます。

札幌 011-856-6618・仙台 022-218-3320・盛岡 019-635-3131・新宿 03-3370-7150・立川 042-535-3894・横浜 045-681-1490・厚木 046-221-8167・千葉 043-266-4510・さいたま 048-663-1124・宇都宮 028-632-3271・新潟 025-243-5256・長野 026-227-1887・名古屋 052-788-7851・金沢 076-224-6255・静岡 054-264-7407・大阪 06-6251-8276・京都 075-312-3401・神戸 078-361-3220・広島 082-832-5277・岡山 086-243-4460・高松 087-867-5953・福岡 092-472-6939・鹿児島 099-254-9807
※営業日、営業時間はショールームにより異なりますので、事前にご確認の上お出掛けください。



リフォームのごならおまかせください!

サンウェイブ
リフォームショップ
ホームページアドレス http://www.swr.jp/

〒101-8270 東京都千代田区大手町一丁目二二(経団連会館七階)
電話(0)三三二二四一三二八〇 住友林業株式会社 木材建材事業本部事業開発部